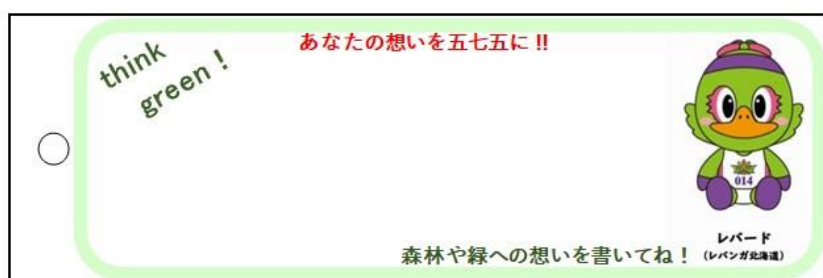


## 「緑の募金」活動用資材 「栞（しおり）」の活用について

「緑の募金」運動については、昭和25年に国土緑化運動として「緑の羽根募金」が開始され、平成7年に戦後50年を契機として「緑の募金法」が制定されて進めており、これまで“緑の羽根”を「緑の募金」運動の象徴として取り組んでおりますが、近年は、街頭募金などにおいて、募金に協力をいただいても羽根は不要という方が多く、この緑の羽根に替わる広報資材が必要となっております。

そこで、試行として、緑の羽根と価格が変わらない紙製の「栞（しおり）」を作成し、ノベルティとして活用することにいたしました。

### ■栞（しおり、紙製両面印刷）



### [活用方法]

栞（しおり）は、家庭募金や街頭募金などでノベルティとして配付します。

また、栞には、森林や緑への想いを記載できるスペースを設けてありますので、  
〈例えば、〉

- 地元の小学生にご協力いただき、小学生に自らの想いを記載してもらい、街頭募金や家庭募金を行う際に、小学生の想いが記載された栞を配って、「緑の募金」の普及啓発を行う。
- イベントの際に「緑の募金」ブースを設置して、募金への協力呼びかけ資材として配付するとともに、記入台と投函箱を置いて、想いを記入した栞を集め、後日HPなどで記入していただいた方の想いを公表し、普及啓発を行う。

## 事例①

B1リーグ レバンガ北海道 開幕節（2023.10.7~8）での「緑の募金」ブース



## 事例②

道民森づくりの集い（2023.10.22）での「緑の募金」ブース

